



学校教育目標 『知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成』

かしこく・自主自立 なかよく・温厚篤実 たくましく・勇壮活発

目指す15歳像 『夢を持ち自分の行動に責任を持つ かにたっ子』



考えよう
家族みんなで
スマホのルール
私たちは子供たちの情報モラル育成に取り組みます
日高市立高根小中学校

夏休み日高市諸事業報告会



少し前になりますが、前号でも掲載した日高市子ども議会・広島平和記念式典派遣事業の報告会を9月2日の全校朝会で行いました。その時の発表原稿を掲載します。素晴らしい原稿のため全文を掲載したいと思いましたが、スペースの関係で、フォントが小さくなります。ご了承下さい。

<子ども議会>

敬称は略します

通学ボランティアについて ○○ ○○

ぼくは、通学ボランティアの方が増えるよう、説明会やポスターの制作、郵便での配布やボランティアに関するフェスを行うことを提案します。

ぼくが住む地域では、通学ボランティアの方が高齢化していて、新しくボランティアをする方が減っています。前までいた人も最近になってボランティアをやめることが増えました。ぼくは、新しい人にどんどん通学ボランティアに参加してもらいたいです。そうすることで、学校に通う子供たちが安心して登校することができると思います。

そのために、ぼくは、ボランティアについての説明会や、ボランティアのポスターの制作、郵便での配布、そしてボランティアのフェスを行えばよいと考えます。これらのことをすることで通学ボランティアについて知ってもらい、ボランティアになるきっかけができ、ボランティアが増えると思います。特にフェスは、若い人も気軽に参加できる工夫をするとういと思っています。例えば、親子一緒に体験しながら交通ルールを学ぶことができるスペースをつくったり、ボランティアグッズを手にとったり、緑色に関わる食べ物を買えたりする屋台を出したりすることができると思います。そうすることで、一人でも多くの人が登校ボランティアに興味を持ってもらえると思います。

これらの取り組みにより、登校ボランティアの数が増えれば、日高市は、子供が元気に安心して学校に行くことができると思います。このような取り組みを実現してほしいです。

教育長さん、どのようにお考えですか。

日高市の自然を守るため ○ ○○

日高市には、高麗川などの清流や、巾着田を始め緑豊かな自然に恵まれています。これらは、カワセミなど様々な生き物の貴重な生息・生育環境となっています。しかし、外来生物が増えれば、今まで住んでいた動物たちがいなくなってしまう、生態系の環境がくずれていきます。そうすると、日高市自慢の自然が、消えてしまうかもしれません。そこでぼくは、動植物のすみかである生息地を多くするための取り組みを提案します。

まず、貴重な自然や動植物を次世代に残すことができるようにしている県の取り組みを紹介します。それは、沖縄県です。沖縄県には西表島という島があり、大昔から残されている島です。その島には、動植物が自然とともに暮らしている場所です。この島には、約七千六百匹の生き物が保存され生息しています。それでは、なぜ西表島は、人間と島独自の動植物の共存を可能にしたのでしょうか。西表島では、外来生物の駆除をしたり、外来生物が入りこまないように防除したりしています。この活動により西表島では、人間と西表島独自の動植物との共存繁栄を可能にしたのです。

このことから、日高市も次世代に渡って動植物と共存していけるよう、外来生物を駆除したり、防除したりすることが、大切だと考えます。まずは、高麗川や巾着田などの自然の様子をこまめに観察することが大切です。その上で池の水を抜いて捕獲したり、植物の場合、伐根したりなど、外来生物の根絶を目指したいです。そうすれば、もともと日高市にいた動植物が、豊かに暮らせるようになるのではないのでしょうか。

このように動植物の自然を残していくようにすれば、観光客もより増え、もっと自然に触れ合う人が増えると思います。

市長さんはどのようにお考えでしょうか。

<広島平和記念式典派遣事業>

広島市平和記念式典に参加して ○○ ○○○

教室で担任の先生から広島へ児童派けんの話があり、最後に「行ってみたい人」と聞かれ、私は、思わず「ハイ」と手を挙げました。今になって思えば、ただ広島に行ってみたくてという単純な理由だったと思います。でも、その気持ちに変化が現れたのは、結団式の時です。一緒に参加する他校の友だちと顔を合わせたり、市長さんや教育長さんからの言葉を聞いているうちに、とても責任のある事業に参加するんだと気付き、少し緊張してきました。

私が、今回、広島で見学したのは、“広島平和記念公園”と“資料館”、参加したのは、“平和記念式典”と“ひろしま子ども平和の集い”です。見学した中で、特に印象に残っているのは、七十九年前の被爆のおそろしさを今に伝える“原爆ドーム”と資料館に展示されていた写真です。ドームは、市内の中心部、緑豊かな公園の中にあり、かべと骨組みだけが残っている様子は、そこだけ時間が止まっているようでした。資料館の写真は、原爆でこわれたり焼けたりした建物や、体じゅうにやけどを負い皮ふがただれてしまっている人など、見るのが辛くなるような写真ばかりでした。

そして、二日目に参加した“平和記念式典”は、日本の国だけでなく、外国からの出席者も多く、重々しいふん囲気をもとても感じました。

七十九年前に、一発の原子爆弾が落とされたことにより、美しいまちの様子は変わり、多くの人の命がうばわれました。そして、今でも多くの被爆者が、心と体に不安を持って生きているそうです。式典の中で、広島の小中学生が、“平和への誓い”を述べました。その中で、『私たちにもできる平和への一歩 ヒロシマを学び感じましょう。家族や友だちと平和の尊さや命の重みについて語り合おう』と言っていました。今まで私の中で戦争とは、テレビや本などで知るだけの遠い昔のこと…というイメージでしたが、今回広島に行ったことで、原爆や戦争の悲しさを少しだけ身近に感じるようになりました。そして、“平和”ということを変更して考え、大切にならなければいけないと感じました。そのためにも、まずいつもそばにいる家族や近くにいる友だちを大切にすることから始めようと思います。

最後になりましたが、今回一緒に行って下さった市役所の方、先生、仲良くしてくれた友だちに、たくさんお世話になりました。ありがとうございました。貴重な経験ができ、よい夏休みになりました。

日高市各種展覧会等結果



<科学教育振興展覧会>

結果	学年	氏名	題目
銅賞	2年	〇〇 〇〇	雲は食べられる？
銀賞	3年	〇〇 〇〇	日高市の川 高麗川の研究
銀賞	5年	〇〇 〇〇	ゆらゆらゆれる ふり子のなぞ
銀賞	5年	〇〇 〇〇	色によつての温まり方のちがい
銀賞	7年	〇〇 〇〇	何色なら火がつく？虫メガネで折り紙に火をつける研究
銅賞	7年	〇〇 〇〇	洗濯物はどのような場所で干すとよく乾くのか
金賞	8年	〇〇 〇〇	飲酒と禁酒の影響
銀賞	8年	〇〇 〇〇	身近なものでの掃除の仕方？の研究～十円玉の変化と夏の大掃除～
銅賞	8年	〇〇 〇〇	災害時に役立つ！？水で戻す乾麺
金賞	8年	〇 〇 〇	日和田山の環境調べ



<入間地区発明創意くふう展>

優良賞	4年	〇〇〇 〇〇
くるっとカレンダー		

<日高市発明創意くふう展(審査のみ)>

優良賞	9年	〇〇 〇〇〇
引き出し付きシェルフ		

新人体育大会入間西部予選会報告



バスケットボール(男子)初戦惜敗 (女子)1回戦:勝利 準々決勝:惜敗
 卓球(男子)団体:予選リーグ惜敗 個人:初戦惜敗 (女子)個人:初戦惜敗
 陸上(入賞者)
 1年(7年)100m 13'0 6位 〇〇 〇〇 1500m 4'53'9 5位 〇〇 〇〇 (県大会出場)
 1年(7年)100m 14'4 6位 〇〇 〇〇 走幅跳 3m48 7位 〇〇 〇〇
 2年(8年)100m 13'5 3位 〇〇 〇〇
 共通200m 28'4 3位 〇〇 〇〇 (県大会出場)・30'7 6位 〇〇 〇〇 (県大会出場)
 砲丸投 7m22 優勝 〇〇 〇〇〇 (県大会出場)・7m11 2位 〇〇 〇〇・5m47 8位 〇〇 〇〇
 4×100mリレー(男子)54'0 8位・(女子)58'9 7位

高根小中学校・地区大運動会プログラム確定!



NO	競技名	参加者	開始予定	NO	競技名	参加者	開始予定
1	台風の日	3・4・8年	9:10	8	日高小唄	全学年・地域	11:25
2	チェッコリ玉入れ	1・2・7年	9:25	9	応援合戦	1~6年	12:30
3	助っ人綱引き	5・6・9年	9:40	10	大縄跳び	7~9年	12:50
4	未就学児徒競走	未就学児	10:00	11	宅配便リレー	全学年・地域	13:10
5	二人三脚リレー	7~9年	10:15	お楽しみ抽選会(受付はお昼まで)			13:30
6	宝探し	全学年・地域	10:35	12	団対抗全員リレー	7~9年	13:45
7	選抜リレー	1~9年選抜	11:10	13	大玉送り	全学年	14:10

※時間は競技等の進行状況により前後する場合がございます。ご来場の際は、できるだけ早めにお越しください。

※11:35~12:30は昼休み休憩となります。抽選会は午後の休憩時間を利用して行います。

※抽選会は昼休憩までに昇降口側テントで受付を行ってください。昼休憩以後は受付を行いません。

※「地域」と書かれている競技等はどなたでも参加できます。宝探しは景品もありますので、ふっつでご参加下さい。日高小唄、皆さんで踊りましょう。わからない方には後期課程生徒が教えます。

